

春の火災予防運動

3月1日(金)～3月7日(木)

平成30年度 全国統一防火標語

『忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認』

春の火災予防運動が全国で一斉に実施されます。

火災は命や財産を奪う大変恐ろしいものです。空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。十分な対策をしてください。家族や近所の助け合いを大切に、みんなで声を掛け合って火災予防に取り組んでください。



■火災被害件数と原因

平成30年中の知多中部管内(半田市、阿久比町、武豊町、東浦町)では、76件の火災が発生しました。火災による負傷者は7人、死者は3人です。

▽ 種別件数

昨年と比較して火災の件数は減少しましたが、少しの油断から火災は発生します。火気の取り扱いなど、十分注意してください。

▽ 出火原因

たき火や火入れが原因で発生した火災の多くは、風の影響で大きく燃え広がったり、周囲の枯れ草などに火の粉が飛び散りたことで発生しています。空気が乾燥して風が強いときは、屋外での火の使用を控えてください。

放火は、「放火されない」「放火させない」ことが大切です。家の周囲を明るくし、不要な可燃物を置かない、物置や空き家には鍵を掛けるなど、放火されない環境づくりをしてください。

種別	件数 (前年比)
建物火災	35件 (+3件)
車両火災	6件 (-6件)
船舶火災	0件 (-1件)
その他火災	35件 (-10件)
合計	76件 (-14件)

平成30年 出火原因		
1位	たき火	10件
2位	火入れ	9件
	放火・放火の疑い	9件

■住宅用火災警報器の点検

住宅用火災警報器は、火災をいち早く知らせる機器です。きちんと作動するように、日ごろの維持管理が大切です。

- ▽ 定期的に点検ボタンなどで、メッセージや警報音が鳴るか作動確認をしてください。鳴らない場合は、電池がきちんとセットされているかを確認し、それでも鳴らない場合は電池を交換してください。
- ▽ 機器には交換時期があります。おおむね10年たった機器は、本体を交換してください。

■住宅用火災警報器の取り付けを支援

住宅用火災警報器を購入し、まだ取り付けしていない方で、次の条件に全て該当する世帯には、消防職員を派遣し、住宅用火災警報器の取り付けを行います。

- ▽ 購入したものの、個人で取り付けができない方
- ▽ 親戚や近隣者などによる取り付けの協力が得られない方
- ▽ 半田市、阿久比町、武豊町、東浦町に在住の方
- ▽ 平日の午前9時から午後4時までの間に取り付け可能な方
- ※ 取り付け料金は無料です。
- ※ 電池式の住宅用火災警報器に限ります。



■問い合わせ先 知多中部広域事務組合消防本部予防課 ☎(21)1491
ホームページ <http://www.cac-net.ne.jp/~chitachu/>